

別 紙

排水機場の役割

大雨により大河川の水位が高くなると、支川（犀川）の水が本川（長良川）に自然に流れ出すことができなくなり、宅地等が浸水することがあります。排水機場はこのような浸水が起きないように支川（犀川）の水をポンプで汲み出し、本川（長良川）へ流す役割を担っており、洪水被害を最小限に抑えるものです。

犀川第一排水機場 犀川第二排水機場 犀川統合排水機場について

犀川第一排水機場は本川である長良川の支川である犀川及び新堀川の水を、犀川第二排水機場は犀川及び天王川の水をそれぞれポンプにより長良川に排水する施設です。また、平成15年度から犀川統合排水機場建設事業を実施中であり、平成19年度暫定運用に向けて試験運転を行います。

排水機場名	犀川第一排水機場	犀川第二排水機場	犀川統合排水機場
河 川 名	新堀川、犀川	天王川、犀川	天王川、犀川
総 排 水 量	8.4 m ³ /s	20.0 m ³ /s	10.0 m ³ /s(暫定)
設 置 年 度	昭和26年	昭和40年	平成19年度暫定運用

過去に実施した水ための状況



湛水状況



犀川第一排水機場
排水（試運転）状況

位置図

